

地域でまちで、認知症の方とその家族を支えます



## ●認知症初期集中支援チーム

認知症サポート医や保健師、介護福祉士などの専門職がチームとなり、認知症での困りごとや悩みなどに早期に介入し、本人や家族を支援します。自宅を訪問し、問題解決のための課題分析を行い、医療介護のサービスにつなげます。



## ●認知症家族会

認知症の方を介護されている家族の方が集まって、日ごろ困っていることや悩みを語り合い、思いを共有する場となっています。

毎月第3火曜日、矢部・清和・蘇陽の3地区を巡回して開催しています。



## ●認知症カフェ

認知症の方と家族、地域住民、専門職などの誰もが参加できる集いの場です。立場を超えて、気軽に交流できるような“ゆるっと”出来る場を目指しています。ゆっくりお茶を飲みに来てください。

|      |                     |
|------|---------------------|
| 清和地区 | 井無田木曜サロン<br>毎月第4木曜日 |
| 蘇陽地区 | 認知症予防音楽カフェ<br>はあとふる |
| 矢部地区 | 島木の茶飲ん場<br>毎月10日    |

## ●認知症地域支援推進員

認知症の方やその家族への相談支援を行っています。また、認知症の方や家族に適切なサービスが提供されるよう、関係機関が密に連携できる体制作りや、地域や関係機関の認知症に対する対応能力が向上するような働きかけをしています。認知症地域支援推進員は、地域包括支援センター内に配置されています。



これら全ての問合せ・相談先  
山都町地域包括支援センター ☎ 72-1677

## わたしたちの人権

162

誰もが人間として生きていくうえで  
侵すことのできない当然の権利  
これが『人権』です

### 人権を考える町民の集い

7月24日、千寿苑において「山都町人権を考える町民の集い」が開催されました。

講師に、シンガーソングライター立木早絵（たてきさえ）さんをお迎えし、「さらなる一歩を踏み出そう！」と題し、講演していただきました。

幼少期に病気のため視力を失いながらも、自らのハンディを個性と捉え、持ち前のチャレンジ精神で様々なことに挑戦し続けてきた体験談を交えながらお話しいただきました。

心のバリアフリーの第一歩だと教わった。「人として思いやりの心と感謝の気持ち忘れずに生きていくこと」と思う。などの意見を頂きました。



## 8月29日から全国一斉「子どもの人権110番」強化週間がスタートします！

熊本地方法務局および全国50か所の法務局・地方法務局では、次のとおり「子どもの人権110番」強化週間を実施します。

- 実施期間等
  - ・ 期 間：8月29日（水）から9月4日（火）までの7日間
  - ・ 時 間：午前8時30分から午後7時まで  
ただし、土曜日・日曜日は午前10時から午後5時まで
- 相談担当者：人権擁護委員・法務局職員
- 相談内容：いじめ、暴力、虐待、体罰等子どもをめぐる様々な人権問題。
- 相談内容についての秘密は厳守します。

なお、熊本地方法務局では、本強化週間以外についても、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで、同じ専用相談電話で相談に応じています。

※詳しくは、専用相談電話（フリーダイヤル）まで

「子どもの人権110番」専用相談電話

フリーダイヤル ぜろぜろなのひゃくとおぼん  
0120-007-110